

埼玉県生物多様性の保全に  
配慮した緑化木選定基準

(在来植物による緑化推進のために)

初 版：平成18年3月

第2版：令和 4年3月

埼玉県環境部みどり自然課



# 1. 生物多様性の観点からの緑化の重要性

生物多様性は私たちの生活に大きな恩恵を与える必要不可欠なものです。しかしながら近年、人間の活動などにより、急速に生物多様性が失われています。

このため、生物多様性を保全し、その恵みを将来にわたり享受できる自然と共生する社会を実現することを目的として、「生物多様性基本法」が平成20年度に制定され、法に基づき生物多様性国家戦略が策定されています。

埼玉県では、本県の多様な地域環境に応じた生物多様性を保全し、持続可能な利用を実現させるため、平成30年2月に埼玉県生物多様性保全戦略を策定しました。この戦略では、天然林や里山の保全、希少種の保護、外来種対策まで様々な保全の取組とともに、建物の壁面緑化、屋上緑化、駐車場緑化などを推進し、市街地での緑を創出する取組を進めています。

# 2. 在来種を使用した緑化を推進するために

緑化木というと、見栄えがよい、病害虫に強く管理しやすいなどの理由で、これまで長い間外来種が多く植えられてきました。

しかし、外来種による緑化は、生態系に様々な問題を引き起こす可能性があるため、できるだけ在来種を使うことが望ましいとされています。

そのためには、一人ひとりが、「在来種を使用した緑化」の必要性を理解し、出来るところから取り組むことが重要です。

そこで、実際に緑化に使用されている樹木の在来・外来の区分、植栽に適する環境等について記載した本基準を作成しました。

今後、在来種による緑化をより一層推進するため、県の関係部局において本基準を参考に「緑化指針」を作成いただくことや、県内の事業所や一般家庭において在来種による緑化に積極的に取り組んでいただくことを期待します。

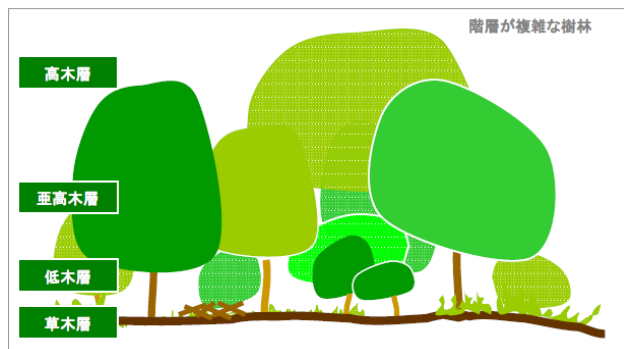
## 外来種による緑化が生態系に引き起こす問題例

- ・緑化木の根に昆虫などの幼虫がついて移動し、本来の生息地ではない地域に生息することで、その土地の昆虫が生息できなくなり、もともとの自然の姿を攪乱する。
- ・外来種を植栽した場所だけでなく、その種子が鳥や風に運ばれて定着することで、周辺地域の在来種の生息、生育を脅かし、固有な生態系に悪影響を与える。

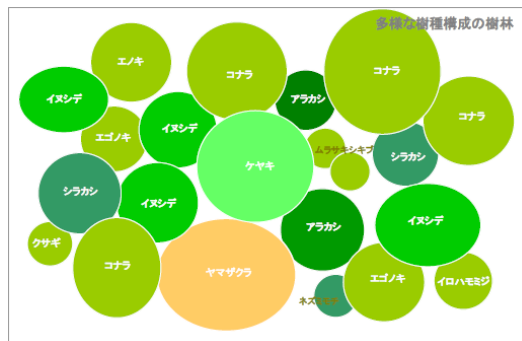
### 3. 在来種の選定と植栽にあたっての方法

在来種の選定については、「4. 緑化樹木としてよく使われている在来植物」や付録を参考にしてください。

植栽にあたっては、多様な動物が生息する緑地を目指すため、単層ではなく多階層になるよう、高木層、中高木層、低木層及び草本類を組み合わせることや、広葉樹や針葉樹などを組み合わせ、多様な樹種構成とすることが重要です。



階層構造のイメージ図



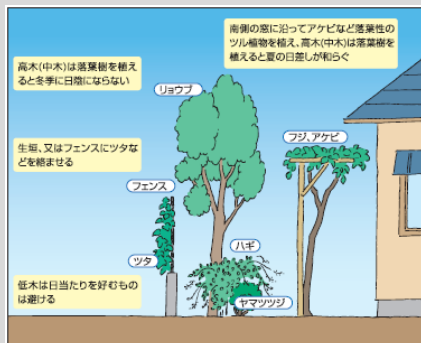
樹種構成の例

(出典：平成21年3月 環境省 自然環境局 公共施設における緑地などの整備及びその管理、並びに市民参加型自然環境調査手引書)

#### 在来種を使用した緑化の例

##### 家庭での取組に向けて

南側の窓に沿ってアケビなど落葉性のツル植物を植え、高木は落葉樹を植えると夏の日差しが和らぎます。



(出典：平成20年3月 埼玉県 生物多様性保全県戦略)

##### 学校での取組に向けて

高木の下にヤマボウシ、ナツツバキなどの中低木、ツツジ類や実をつけるガマズミ、ムラサキシキブなど多種類の低木を植え、児童生徒の教材としましょう。

##### 工場、事業所での取組に向けて

付近の雑木林をモデルとして、緑地をできるだけ一か所にまとめて自然度の高い森林に造成しましょう。

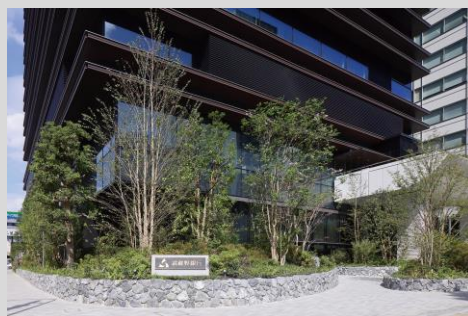
高くなる木だけでなく、ヤマツツジやムラサキシキブなどの低木を植えましょう。

##### 公園での取組に向けて

高木の下にヤマボウシ、ナツツバキなどの中低木、ツツジ類や実をつけるガマズミ、ムラサキシキブなど多種類の低木を植えましょう。



埼玉県環境科学国際センター生圏園



武蔵野銀行本店ビル「武蔵野の森」

# 4. 緑化樹木としてよく使われている在来植物

樹木を選定する際の参考としてください。  
 なお、詳細なリストは付録を確認してください。

区分	在来種	低地・台地 標高100m	丘陵・低山 標高100~500m	山地 標高500~1000m
落葉 高木	アカシデ	○	○	○
	イヌシデ	○	○	○
	イロハモミジ	○	○	○
	エノキ	○	○	
	オニグルミ	○	○	○
	カツラ	○	○	○
	クリ	○	○	○
	ケヤキ	○	○	○
	コナラ	○	○	○
	コブシ	○	○	○
	シラカンバ			○
	トチノキ	○	○	○
	ハクウンボク		○	○
	ハンノキ	○	○	○
	ブナ			○
	ミズキ	○	○	○
	ヤシャブシ		○	○
ヤマザクラ	○	○	○	
ヤマハンノキ		○	○	
常緑 高木	アカマツ	○	○	○
	イチイ			○
	コウヤマキ			○
	ゴヨウマツ			○
	サワラ	○	○	○
	シラカシ	○		
	スギ	○	○	○
	スジダイ	○	○	
ヒノキ	○	○	○	
落葉 中高木	エゴノキ	○	○	○
	ナツツバキ	○	○	○
	ナナカマド			○
	ヤマボウシ		○	○
	リュウブ	○	○	○

区分	在来種	低地・台地 標高100m	丘陵・低山 標高100~500m	山地 標高500~1000m
常緑 中高木	ネズミモチ	○	○	
	ヒイラギ	○	○	
	ヤブツバキ	○	○	
落葉 低木	イボタノキ	○	○	○
	ウツギ	○		
	ウメモドキ		○	
	ガマズミ	○	○	○
	カワヤナギ	○	○	○
	クサボケ	○	○	
	コマユミ	○	○	○
	シモツケ		○	○
	タラノキ	○	○	○
	ナツグミ	○	○	○
	ニシキギ		○	○
	ネコヤナギ	○	○	○
	マユミ	○	○	○
	マンサク		○	○
	ミツバツツジ		○	○
	ムラサキシキブ	○	○	○
	ヤマツツジ	○	○	○
	ヤマブキ	○	○	○
	ユキヤナギ		○	○
	レンゲツツジ			○
常緑 低木	アオキ	○	○	
	アセビ	○	○	○
	イヌツゲ	○	○	
落葉 つる性	アケビ	○	○	
	ツタ	○	○	○
	ツルウメモドキ		○	○
	ミツバアケビ		○	○
常緑 つる性	キヅタ	○	○	
ササ・ タケ類・ ヤシ類	メダケ	○	○	